

策定委員と中高生世代との意見交換会 グループD

■グループトーク

○吉田委員

このグループは、いろいろな専門の委員が回る都合もあって、一番最後のテーマの吉祥寺の問題から開始することになっています。ここに都市のご専門の鈴木先生がいらっしゃいます。おそらく 15 分ぐらいだと思います。パークエリアとイーストエリアの2つを両方合同で話してほしいとお話があったので、まず、先生が何か持ちかけたらしいので。

○鈴木委員

難しいことを考えないで。僕が武蔵野に住んでもう 70 年になるんだけど、引っ越してきたとき、水道がなかった。ガスもない。お風呂は石炭で炊いていた。井戸で水をくんで。三鷹の中央通りは舗装されていなかった。井之頭通りも砂利道。そんな時代だった。だから、まちづくりはものすごい時間がかかる。だから、みんなが今日言ってくれた話の実現するのは 30 年後、40 年後になるかもしれない。でも、着実に進歩している。だから、例えば、下水普及率が 100%になったのは、日本の中では三鷹が 1 番なんだけど、武蔵野市は 2 番。インフラとかライフラインと言うんだけど、僕が担当している都市基盤というのはそういうこと。

ただ、今日、みんなに聞きたいのは、最近の流行言葉で「サードプレイス」という言葉を知っている？ファーストプレイスは家。セカンドプレイスは、みんなの場合は学校だよ。サードプレイスというのは、家と学校以外の自分がいる居場所。自分がいたい居場所。そういう場所がこれからの人生で大事だと言われているのね。大人の場合は、家と会社。皆さんの場合は、サードプレイスが一体どういう場所か。塾というのは 2.5 ぐらいだよ。そういう場所が吉祥寺にあったらいいなというね。

今、コミュニティセンターを建て替えようとしているんだけど、皆さん、コミセンへ行ったことがある？ないでしょう。僕もなかったんだけど。境だとプレイスがある。プレイスは中高生に人気がある。ああいう場所を吉祥寺に欲しいかなというのが聞きたいことだったの。皆さんにとってのサードプレイス。

○参加者

私は、プレイスの地下 2 階のティーンエイジャー向けの成人までしか行けないところがあって、そこだと友達としゃべったりしながらいろんな作業、宿題をやることもできるし、

押し活のことをやっている子もいて、そういう場所はすごく居心地がいいから、そういうところが私は徒歩で行けるからあれだけど、吉祥寺のほうに住んでいる友達もそういうところが欲しいんだよねという話はよくしています。

○鈴木委員

そういう意味では境は恵まれているんだ。大人は入っちゃいけないんだよね。

○参加者

そう。

○鈴木委員

図書館だとしゃべっちゃいけないしね。

○参加者

そう。

○鈴木委員

どうですか。杉並に住んでいるの？杉並はそういうところがあるの？

○参加者

杉並区は、そういう場所、図書館とかもあんまり行かなくて、いつも学校帰りとかに学校の図書館とかに行って、友達と勉強したりとか、そういうのが多いですね。そこで安心して過ごせるから、私のサードプレイスかなと思います。

○参加者

僕はたまに、あんまり外で自習室とかで勉強することはなかったですけど、夏休み中に宿題が終わらなさそうだったので、初めてエコ re ゾートの学習スペースを使って。きれいな学習のところがあつたらいいな。僕の家近くの北コミセンも改修されて結構きれいになっていて、前より入りやすい感じになっています。

○参加者

私も全く一緒に、プレイスの地下2階のティーンズフロアによく行っていて、ショックを受けたんですけど、本当にいろんなことができるので、自分の居場所というのはプレイスの地下2階とかにあるのかなと思うんですけど。

ちょっと話がずれちゃうかもしれないんですけど、私の欲しい居場所というのが、自分が軽音部に所属していて、プレイスの地下には楽器ができるところがあって、すごくありがたいのですが、ほかのところに少なくて、専門的なスタジオはすごいお金がかかってしまって、1,000円とか2,000円とかしちゃうので、プレイスは200円ぐらいで借りられる

んですよ。近くにあるコミセンのほうは、借りれるところがあるんですけど、ドラムとかがなく、だから、私が欲しいなと思っているのは、プレイスの地下2階にあるような感じのドラムとかアンプとかが置いてある、安く借りられるところが欲しいなと思っています。

○鈴木委員

それは吉祥寺、三鷹、境、どこにもあってほしいよね。

○参加者

はい。欲しいです。

○鈴木委員

防音のね。僕もサックス吹くんだけど、家に防音ルームをつくっているけどね。でも、みんなで練習するのはいいかもね。

○参加者

自分の周りの子も欲しいと行っているの、コミセンにつくってくれたら、中高生とかが行くようになってくれるんじゃないかなと思います。

○鈴木委員

じゃ、中高生が行ける防音ルームを作れって。

○参加者

そうですね。

○鈴木委員

ほかにも、運動をやったり、ボルダリングとか、そんなのができるところがいろいろあるよね。プレイスだけが突出しているね。吉祥寺のまちで。そういう中でもやっぱり。

あと、吉祥寺の公会堂を、今、改修しようとしているけど、公会堂に行ったことある？

○参加者

行ったことあるかな。

○鈴木委員

行ったことないかな。あそこもよく音楽とか落語とかをやるんだけど、大体みんな存在を知らないね。吉祥寺から井の頭公園へ向かって左側にある。知らないんだね。存在すら知らない。

○参加者

そうですね。完全に自分の住んでいる地域は武蔵境ぐらいで終わっちゃっているの。

○鈴木委員

そうだね。井の頭公園は、行ったことない人はいないよね。あそこを今度改修されて、みんなも行ったらいいかなという空間になると思う。フラッと。普通は、公会堂とか、催しに用がない人は行かないじゃない。だけど、ちょっと上ると広場があったり、ちょっと宿題をやったり。屋外だけど、ちょっと屋根があったり、そういうのがいっぱいある。ちょっと楽しい感じがする。ああいうところもサードプレイスになりやすいかなと思うんだよね。

あと、僕が小さいころは、サンロードにバスが通っていたの。とにかくそこで買い物なんておちおちできない。だけど、吉祥寺大通りというのができて、サンロードが歩行者だけになったわけ。だけど、吉祥寺駅を降りてすぐ井の頭公園に向かうところも、バスが来るでしょう。あれ、どう思う？

○参加者

怖い。駅降りてきて、私、夕方によく行くんですけど、人がすごくいる中で「バス通りまーす」と言われると、どこに行けばいいのかわからないけど、バスが通るから、みたいなので、怖いなといつも思っています。

○鈴木委員

サンロードは昔はああだったの。ただ、じゃあ、吉祥寺を再開発して、超高層にして、広場をとって、人がザーッと歩けるようにするというのは、吉祥寺で、例えば、新宿や赤坂とかあっちみたいなのが建つ雰囲気ってどういう感じ??吉祥寺らしさみたいな。

○吉田委員

都市のイメージとして、例えば、ビル主体のニューヨークとか、オリンピックが開催された、パリはエッフェル塔を中心に全部空が見渡せるじゃないですか。そういうイメージとか、あと、京都とか、自分たちの中で吉祥寺のあるべき、どういうまちのイメージが浮かびますか。今のある日本の都市で、例えば渋谷みたいな。吉祥寺と渋谷は近いですけど、そういう感じになってほしいのか、どういうまちだったら自分たちが吉祥寺をすごく好きになれるかというイメージはありますか。

○参加者

地理的距離があるのかもしれないけど、新宿とか渋谷というと、すごいアウェイ感があるというか、外出をしているという感じがすごくするけど、吉祥寺というと、フラッと自由に行ける感じが強いから、そういう感じのほうがいい。

○参加者

確かに。それはめちゃくちゃ思います。

○鈴木委員

唯一中学生はどう？

○参加者

僕は、吉祥寺はまちの雰囲気全体が落ちついていて、さっきの新宿とかよりもっとガヤガヤしてなくて、全体的にまとまった感じが好きです。ずっと住んでいて。僕、ちょっと前まで海外に住んでいたんですけど、向こうはもうちょっとまとまってなくて、道もグネグネしていて。だから、落ちついていい雰囲気。公園もあって、いいところだと思います。

○吉田委員

杉並と比べてどうですか。

○参加者

私が参加していないだけかもしれないけど、杉並区、こんな感じで交流の場みたいなのがありませんので、武蔵野市は、市民の方々が交流できるようなフレンドリーな場をつくれたらいいと思います。

○伊藤委員

吉祥寺のイーストエリアって行く？駅の北口の東のほう。

あそこにも吉祥寺図書館があって、あの辺に行く？成蹊の人はどこで遊んでいるの？

○参加者

主に東急の屋上とか、よく行きます。

○伊藤委員

あれ、いいよね。今すごいんですよ。高校生だらけ。

○参加者

しかもきれいになって。

○伊藤委員

あそこの何がいいんだろう。

○参加者

下のスタバでドリンクを買って、持ち込んで飲んだりとか、しゃべったりとかして、よく行きます。

○伊藤委員

学園祭の練習とかもしているよね。

○参加者

そうですね。

○参加者

へえ、すごっ。

○伊藤委員

大人が入ると恥ずかしいぐらい高校生だらけ。

○参加者

そうですね。

○伊藤委員

ああいうところがいいのかな。欲しいのかな。

○参加者

そうですね。

○伊藤委員

何もないけどね。

○鈴木委員

お金取らないでしょ？

○伊藤委員

はい。タダです。

○吉田委員

ちょっと食べ物も持ち込めてというのもいいんじゃないですかね。図書館だと食べながらできない。

○参加者

タダってすごくでかいと思うので。

○吉田委員

タダが大きい。

○参加者

本当にそうなんです。自分の高校はバイト禁止で、お金が自分で稼げないので、放課後友達と遊びに行こうといっても、ものすごいお金を使うことができなくて、遊ぶってお金を使うじゃないですか。だから、お金の分を少しでも減らしたいと思ってプレイスとかい

ろんなどところに行っているんで、無料で開けた場所があるのはいいんじゃないかなと思います。

○鈴木委員

公共がサードプレイスをつくらなくても、民間がつくってくれればいいんだけど、そういうのが連続しているといいよね。僕は吉祥寺の再開発をやるときにも、いろんな民間の企業とかが広場とかそういうのを出し合って、それを続けていく。駅から公園まで。ここはお金を取りますよ、じゃなくて、建物は建物でやって、外にそういう場所。それを全部つなげるといいと思うんだよね。

○参加者

確かに。

○鈴木委員

そうじゃないと、へた地と言うんだけど、半端な土地だけがただ点在していく。それを連続させるというのが僕の夢なんだよね。

○参加者

確かに。

○鈴木委員

ちょっとしゃべり過ぎた。みんなも夢を語って。ここで語るのはタダなので。

○参加者

吉祥寺再開発をするにしても、小さいお店とか、吉祥寺へ行かないと食べれないとか、そういう小さいお店、落ちつける場所はとっておいてほしいなというのはあります。

○鈴木委員

そうだね。巨大ビルがあったらちょっと入りにくいもんね。

○参加者

吉祥寺にしかない落ちつきはとっておいていただきたいなと思います。

○鈴木委員

僕、そろそろお役御免だから、別のテーマに入ってください。

○吉田委員

では次のテーマに入りましょう。皆さん、残りの3つのうちで優先したいのは、子ども問題か、高齢者の問題か、学校の問題か。どれにします？

子どもの問題がいい人。

高齢者の問題がいい人。

学校の問題がいい人。

○参加者

学校。1年前まで中学生だったので。

○吉田委員

それでは、学校の問題で。

○参加者

学校名とか、中学校のとき、小学校のとき、どこにいたかとか言っても大丈夫ですか。

○吉田委員

そうですね。

○参加者

私は、小学校が桜野小学校で、中学校が武蔵野第二中でした。

○吉田委員

二中、六中の問題の当事者ですね。

○参加者

そうですね。

○参加者

私、小学校は二小で、中学から私立なので。

○参加者

私は小学校からずっと成蹊。

○参加者

僕、小学校が第一小学校。中学校が成蹊中学校。

○参加者

後輩？

○参加者

後輩。

○参加者

何部ですか。

○参加者

ソフトテニス部。

○吉田委員

成蹊率すごく高い。

武蔵野市には 12 校小学校があつて、中学校が 6 校ありますが、だんだん子どもが少なくなつてきてというような話になつていて、今、皆さん、1 クラス何人ですか。

○参加者

中学校は 30 人ぐらいで、高校になつて 1 クラス 40 人になつたので、10 人増えてびっくりしています。

○吉田委員

10 人増えるとどうですか。

○参加者

なんかきついな。

○吉田委員

何がきついですか。

○参加者

空気感がキツキツ過ぎる。30 人のときは落ちついてたけど、教室もでかくなるし、人の目の前で発表するときに人数が多過ぎてちょっと怖くなつちゃうというか。だから、30 人のときは落ちついていてよかつたなと思っています。

○吉田委員

自分のイメージとしては、30 人クラスのほうが 40 人クラスよりいいなという感じですか。

○参加者

いいなつて。桜野のときも多分それぐらいだったので。

○吉田委員

●●さんはどうですか。

○参加者

僕、今のクラスが 40 人ぐらいで、ほかのクラスもそれぐらいで。

○伊藤委員

1 学年何クラスあるの？

○参加者

A から F まであるので、結構な人数いて。小学校の頃もそれぐらいで、クラスの中がま

あまあ狭くて、ギスギスしていて、そんな感じです。

○吉田委員

何人ぐらいがいいと思いますか。もっと少ないほうがいい？今の状態でも大丈夫？

○参加者

もうちょい少なかったらいいかなぐらいです。

○吉田委員

●●さんも同じぐらいですか。40人ぐらい？

○参加者

40人ぐらいで。でも、小学校は30人ぐらいで、40人になったら、1回もしゃべらない人が出ちゃうので、あんまり交流が深まらないみたいな感じで、仲いい人がかたまっちゃうみたいな感じなので、もうちょっと少ないほうがいいと思います。

○参加者

本当、そう思います。

○吉田委員

●●さんはどうですか。

○参加者

私は、小学校は30人ぐらいだったんですけど、今は50人が5クラスなので、同じクラスでも、名字は知っているけど、下の名前は知らないとか、話したことないという子がすごく多い。

○吉田委員

話す人決まっちゃってきちゃうよね。

○参加者

決まってくる。席替えで近くなったら、はじめまして、みたいな感じだから、私は小学校ぐらい、30人ぐらいのほうが好きだった。

○参加者

40人でも顔と名前が一致していないのに、50人でレベルが違い過ぎてびっくりしています。

○吉田委員

部活動とかで対外試合とかは、学校を合同して大人数になると、いろいろな部活ができるのではないかという話もあって。学校として人数は多いほうが、クラスの数が多いほ

うが部活動が活性化されるんじゃないかという意見話もあったんですけど、皆さんの学校の部活動の状況としては、今の1学年の人数というのは、対外的にいろいろ試合ができるとか、サッカーのチームが組めるとか、そういう点ではどうですか。

○参加者

私は、先ほど言ったんですけど、軽音部に所属していて、クラスが40人で、ABCDEまであるので、軽音の数が多くて、多いと交流が少ないというか、限られているというか、話すこともない人たちが多くて。でも、中学のときは、もともと卓球部に所属していて、学年で10人ぐらいしかいなかったけど、それはそれですごい仲よくなったというか。少ない人数の中ですごい仲よくなって、すごくいい思い出をつくれたので、私的には、多いからいいというよりは、少ない中で友情を育てていくのもいいのかなと思います。

○参加者

僕の部活も、人数的には多いよりは少なくて。でも、逆に、僕も全く同じ意見で、多いからいいというわけじゃなくて、少ないほうがもっと1人1人話す機会があるし、どんどん仲よくなっていくし、もっと絆も深まりやすいのかなという思いですね。

○参加者

私は、ストリングス部といって、弦楽器を弾くオーケストラの部活に所属しているんですけど、オーケストラで一定の人数は必要ですけど、初心者も入ってくるので、教える先輩が必要なもので、一定の人数は要るものの、少ないほうがいいとは思いますが。

○参加者

私は、今、茶道部で、すごく人数が少ないんですけど、学年に2人しかいない感じで、でも、物理部とか化学部とかはすごく多くて、学年で40、50いるみたいな。そうすると、茶道部だと先輩、後輩の縦のつながりがすごく強くて、部活中もおしゃべりしたりもするけど、化学部とか物理部になってくると、同じ学年だけで友達がいるから、縦のつながりをあまり求めない。だから、後輩とか、先輩とか、あまり関わりがなくて、学校の休み時間と変わらないみたいなことを聞くので、部活動というのをやりたいんだったら、あと、大きい部活であっても、縦割りのようにしてグループを分ければ、ちゃんとつながりが出るのかなとは思ったりします。

○吉田委員

1学年のクラスは何クラスぐらいがいいと思います？今、4クラスとか5クラスとか6クラスのところもあると思うけど、1学年の人数割りで何クラスぐらいあったらいいかな

と思います？今、二中、六中だけではなくて、武蔵野市の若い人口が減っていったときに、今ある学校の中では人数が少なくなってしまう可能性もあるし、でこぼこになったときに幾つかをまとめるということも考えなくてはならないかもしれないという事が出たりしているんですけども、片方の学校ともう一方の学校が一緒になるというときに、皆さんたちのイメージとしては、1学年何クラスぐらいだったらいいかなどか、あるいは一緒になるときの問題とか、皆さんたち小学生、中学生の立場として、一緒にされたらたまんないよとか、いろいろあるじゃないですか。そういうのはどうですか。

○参加者

私は、小中が公立で、高校になって初めて外に出て、5クラスになったので、小中の経験で言うと、4クラスぐらいが交流できるというか、4クラスぐらいがちょうどいいのかなとは思いますがね。

○参加者

クラス自体は別に4とか5とか6とか、そこら辺でいいと思うんですけど、クラスにもうちよっとゆとりがあったほうが入りやすいかなと。小さいクラスがぎゅうぎゅうになっていると、例えば、学校に行きたくなくて、クラスに入りたくなくて、しかもすごい人数いて、みたいな、よけい入りにくくなってしまうと思うので、もうちよっとゆとりがあったらいいのかなと思います。

○吉田委員

ゆとりというのは、1学年の人数ということかな。それとも、全体の雰囲気？どういうゆとり？例えば、学校に通いにくい子もいると思うけど、どういう意味でのゆとりという感じ？イメージとして。

○参加者

イメージ。うーん。

○吉田委員

例えば、新しい学校ができてくるときに、自由にこういう空間があったら学校としていいなとかいうこともつながると思うけど、今の学校にはないけど、新しく建てる学校にはこういうものがあつたらいいなというのはありますか。スペースとか設備とか。そうするとゆとりが生まれるとかいうようなイメージがわきます？

○参加者

もうちよっと学校に行きにくい子とかが入りやすい、専用のところみたいなのがあつた

らいいんじゃないか。

○参加者

私も同じように、行きにくい子たちが交流というか、1人で何かしらできる。学校に行くという目標を達成するためには、教室というか、部屋は必要だと思うから、別の部屋を用意してあげるのはいいかなと思います。

○参加者

私が小学校のときに、あまり登校したくないんだよねという子がうちのクラスにいたんですけど、教室に仕切りを作ったので、そこに入って来れる形になっていて、外からも話しかけたりはできるけど、その子が1人でいたいというときは、ちゃんと仕切りを仕切っておいて、その子は中で過ごせる。だから、掃除とか、給食のときは出ていけるなどその子が思ったときは、出てきて一緒にご飯を食べたり、授業を受けたりとかもしたし。一番後ろにあったので、授業のときは仕切りを開けて普通に授業を受けるみたいなことをしていたので、それはいいかなと思います。

○参加者

確かに。別の教室にしちゃうと、授業とかが。

○参加者

授業をできるなという気持ちになったときにすぐに行動に移せないから。

○参加者

確かに。私の親が今、桜野小で講師として働いているんですけど、仕切りの話は聞きました。仕切りをつくっているみたいな。仕切りかどうかわからないんですけど、教室の中に小さい部屋みたいなのをつくって、出れるときに出てくるみたいなのは聞きました。

○伊藤委員

1学年が、今、武蔵野の中学校だと2クラスとか3クラスなんですよ。だから、体育祭をやってもAとBが対決するみたいな感じになっている。皆さん、5クラスぐらいあるんでしょう？体育祭とかってクラスが団結するじゃない。2クラスとか3クラスでどうだろう。

○参加者

私の友達が2クラスで過ごしてきた人で、体育祭のときにめっちゃバチバチになるみたいな。

○伊藤委員

かえってまとまるか。それはそれで楽しいか。

○参加者

確かに。でも、良いことと悪いことと言ったら、悪いことのほうが多いみたいなことを言っていました。

○参加者

5クラスとかあると、毎年クラス替えで新しい人とばかりになっちゃうから、1年で団結力って出なくて、だから、いっぱいクラスがあってもどうかなという感じ。

○伊藤委員

学年、何クラスぐらいがいいと思う？

○参加者

私は2～3クラスが好き。

○伊藤委員

小学校は何クラスあったの？

○参加者

小学校は基本的に2クラス。でも、そっちのほうを知っている人も多くなって、仲も深まるのかなという感じです。

○伊藤委員

クラス数が多いからといって友達が増えるわけじゃないよね。

○参加者

逆にしゃべらない人もいて、交流が深まらない。少ないほうが仲が深まる。

○参加者

私的には、みんなと逆になっちゃうけど、クラス替えをすごい楽しみにしていた人なので、クラス替えで、あ、この人と一緒になったという機会が増えるのが嬉しいなどは思っていました。でも、それは小中で、小学校からずっと知っている人たちという範囲の中での話なので、高校になって、来年とかクラス替えになったら不安だし、だから、それは何とも言えないですけど、クラス替えは楽しみにしていました。

○伊藤委員

二中と六中を一緒にしたらどうかというのが計画としてはあったんだけど、今、白紙になっているんだけど、そうすると1学年が6クラスぐらいになるんです。今、どこも、野球部も9人集まらない学校がいっぱいある中で、その規模の中学校になると、部活も何種

類かできるんじゃないかというのがプラス面ね。マイナス面は、多くなるから、1クラスは30人とか40人だけど、どっちがいいかなというのを、皆さんの意見を聞いて参考にできればなというのが、今日、このテーマでは思っているところ。

○参加者

私が二中で、二中と六中がくつつくかもしれないという話が出たときに、それは嫌だという声がめちゃくちゃ多くて。

○伊藤委員

1番は何だろう。なんで嫌なの？

○参加者

なんでかわからないですけど。私は、六中の話とは変わってしまうんですけど、境南の子が二中に来るというのがあって、少人数だからという話もあるかもしれないんですけど、隔たりというか、距離を感じてしまったので、他の学校から来るというのは、距離が空いちやうということを恐れているのかなという感じでした。

○参加者

逆に、少人数過ぎても、1回何かあってクラスから離れたいというか、行きにくくなったときに、人数が多いほうが薄まるんじゃないか。

○伊藤委員

それはあるかもしれない。

○参加者

確かに。難しいですね。

○伊藤委員

成蹊は小学校からクラス替えはどうなっているの？中学校は毎年クラス替え？

○参加者

中学校は1から2に変わるときにクラス替えをして。

○伊藤委員

2と3はなし。

○参加者

はい。

○参加者

学年で2クラス、3クラスだったら、学年として団結という感じが出てくるけど、5ク

ラス、6クラスになってくると、毎年、クラス替えをしないなら、クラスで仲よくなること
ができるけど、毎年したら、そんなに仲良くならずに終わる。

○参加者

ぐちゃぐちゃになりそうだね。

○参加者

去年は仲良かったけど、今年は別に仲良くない、みたいな子が出てきたりとか。

○参加者

確かに。

○伊藤委員

なかなかどっちがいいとは言えない感じだね。

○参加者

部活動だけ一緒にするとかできないんですか。

○伊藤委員

それは今考えていて、近い中学校で野球部は合同野球部みたいな。

○参加者

野球部なくなる問題はすごく出ていました。野球部が全然いないので。

○伊藤委員

少年野球はいっぱいあるのにね。

○参加者

本当そうですね。なんで中学のほうで部活に入らないんだろうという。

○伊藤委員

シニアのチームとかに行っているんだよね。本当にやりたい子は、部活じゃなくて。サ
ッカーもクラブチームとか。そう考えると、部活要らないんじゃないかという話もあるん
だけだね。本当にやりたい子は。化学部？物理部が人気があるといったっけ？

○参加者

はい。

○伊藤委員

なんで。

○参加者

もともと学校がそういうあれなので。

○吉田委員

受験校で基本的に理科系に進む人が多かったりすると、理科系のクラブが強かったりしますよね。

○伊藤委員

緩いからみんなが行っているというわけでもないんだね。

○参加者

もあります。上の学年になると、受験勉強したいから、部活の時間を最小限にしたいというのは、うちは絶対部活に入らなきゃいけないので、それが1つ。

○伊藤委員

ゆる部活的な意味合いもある。

○参加者

でも、部活をなくしちゃうと、それはそれであまりよくないんじゃないかなと思う。

○伊藤委員

部活が楽しくて学校に来るんだもんね。

○参加者

そうですね。私は本当そうだったんですよ。10人しかなくて、しかも、そんなに強くないで緩い部活だったので、ほかのクラスの子たちと部活の中で交流。それをすごく楽しみに生きていたので、部活という半強制というか、行かなきゃいけないところをなくしてしまうと、1人になっちゃって悲しいなというのはあります。

○伊藤委員

もう一個ぐらいテーマをやりませんか。

○吉田委員

あと2つあるので、小さい子、弟さんとか妹さんとかいらっしゃるかどうかわかりませんが、お母さんをアシストするような、武蔵野市でやってもらいたいようなことがありますか。市長の公約にはレモンキャブみたいな形で、病院に通うときに利用できるものという話があったんですけども、皆さんの周りで、小さな子供たちをかかえた、お母さんたちに何かできそうなことはあるでしょうか。皆さん、ご兄弟はいらっしゃいますか。

○参加者

7歳離れた姉がいるので、あまり下のことはイメージないです。

○吉田委員

でも、例えば、通学中とかバスに乗るときに、ベビーカーを押している人とか、バスに乗せるときにバスがずっと停まったりとかするじゃないですか。どのような仕組みがあったら、もし自分たちがお母さんの立場で子どもを抱えたとイメージして、そういうときに何かいいものがあるでしょうか。杉並区はそういう補助があったような感じも杉並在住の方、あまり知りませんか？小さい子を抱えているお母さんたちの不便を解消できそうなスーパーな何かアイデアはありますか？

○参加者

それこそめちゃくちゃお金がかかるかもしれないんですけど、バスに乗るときに周りがざわつくというか、早く行きたいのにみたいな、そういうのはよくないなと思うので、お金がかかるかもしれないんですけども、赤ちゃんを連れている人専用の、今つくられているムーバスみたいな感じの、ムーバスの赤ちゃんを乗せる版みたいななのをつくってもいいんじゃないかなと思います。

○吉田委員

すごくお金かかりそう。どこにそれを必要としている子どもたちが分布しているかがちょっと難しいよね。でも、そういうのがあるといいよね。電車は専用のスペースが広くとってあったりするから、バスでもそういうのもがあればもうちょっと乗りやすくなっていいなと思うんですけどね。

何かほかにありますか？

○参加者

高齢者のあれで武蔵野市がやっているタクシーじゃないけどみたいな。

○伊藤委員

レモンキャブ。

○参加者

あれを子育て世代にも入れる。

○吉田委員

そういう話もあったのですが法律的にレモンキャブを子育て世代に使うことができないんです。

○参加者

そうなんですか。

○吉田委員

そうなの。そこで問題になったの。だから、子育て世代用のレモンキャブをつくればいいのか。逆に言うとね。

○参加者

そういうのをつくったほうがいいと思います。

○吉田委員

それはできそうですか。

○伊藤委員

それが法律でできないので、例えば、タクシー会社さんをお願いすればできる。レモンキャブは特殊な仕組みなので、障害者とか高齢者とか特定の人しか載せられないというルールなので。民間業者と戦うわけにはいかないの、タクシー業者をお願いするのはできるかもしれない。お金がかかるけど。

○参加者

お金がやっぱり伴いますよね。

○伊藤委員

それならタクシー券を渡したほうが早いかもしれない。でも、公共施設間を幼稚園バスみたいので回るようなのをやれば楽しいかもしれない。

○吉田委員

でも、市長の発想の基本は病院に行ったり、お産のときとか、乳児検診とか、予防注射がいっぱいある時期の足として、どうしても行かなくてはいけないところに行くのに大変だから、それを補助しようという発想だったので。ただ、タクシー会社も、呼ばれたらすぐ来てくれるかと言うと、タクシーが少ないじゃないですか。ただでさえ大変なのに、タクシー会社が、はい、やりますよとはなかなか言ってくれないとか、いい知恵が私たちの中でも浮かばなくて、タクシー券を配るのがいいのか、どうなのがいいのかということ。難しいですね。

○参加者

難しいですね。実際、子育てをしているわけじゃないので。

○吉田委員

さらに実感がない高齢者のほうのテーマに移っていいでしょうか。きょうは敬老の日ですけれども、皆さんのおうちに高齢者はいますか。いらっしゃる方？全くいらっしゃらない。

○参加者

家にはいません。施設のほうに。

○吉田委員

自分のおじいさんおばあさんは60代ぐらい？70代ぐらい？

○参加者

80代ぐらいだと思います。

○吉田委員

70代、80代の方がどうしたら健康でいられるかという事なんですけれども、ニュースでは65歳以上が全人口の40%に迫っているという話です。なるべく動ける形で、自分のことは自分でできる形で、100歳まで生きるのが健康長寿という発想です。そのためには高齢者でも新しいことにチャレンジする気持ち、それから、人とのかかわり合いを常に持つような環境と、毎日1つ1つ決まったことをやれる誠実さが役立つといわれています。運動にしてもそうですが、毎日5分ストレッチをやってと言われてもなかなかできない。皆さん毎日継続できていることはありますか？運動とか。

○参加者

三日坊主なので、これやろうと思ったら、3日でやれなくなります。

○吉田委員

そういう高齢の人たちのために、何か皆さんから提案ありますか？皆さんの周りで高齢者にやってほしい仕事がありますか？皆さんの周りで高齢者がやれそうな仕事。例えば、イメージとして70歳ぐらいの人たちがそこで参加できそうで、やってもらいたい仕事とかありますか？

○参加者

仕事までは行かないですけど、中学のときに卓球部のときに、コーチという方が来てくださって、それも結構ご高齢の方だったので、10人しかいなかったもので、一緒に打つ相手として、高齢の方、卓球をやっている方に来ていただけたらいいんじゃないかなと思います。

○参加者

ハードなやつだと大変なので、PTAの見守り隊ぐらいなのがちょうどいいんじゃないかと思います。

○参加者

確かに。

○参加者

私は、部活で指導役が足りていないので、楽器を昔やっていて、ある程度知識のある方に教えてもらったりとかをしていただければ。

○参加者

私は、小学校のときに、多分授業だったと思うんですけど、昔手遊びみたいな、お手玉とか、そういうのを教えてくれたのが高齢者の方で、あと、今、学校で礼法の授業があって、高齢者の方はお作法をよくご存じの方が多いので、そういうのを小学校とかでも簡単にでも教えられるし、日本文化を教える一環じゃないですけど、そういうのもいいのかなと思います。

○吉田委員

お家に高齢者がいらっしゃらないというお話だったけれど、高齢者の人と若い世代がうまく接点をもてる場があるかな。例えば、さっき言った武蔵野プレイスの地下2階は、高齢者はもちろん行けないわけだけど、そういうところで軽音楽を発表するときに高齢者を招待するとか。いろんなことで若者の文化とギャップがあるじゃない。ゲームにしても、AIにしても。そういうところで高齢者とうまく交流というか、逆に言うと、若者の文化についていけるように高齢者をしたほうが、高齢者は元気で長生きできるんじゃないかと。そういう方法ってある？皆さんのアイデアで高齢者活性化プロジェクトみたいな。

○参加者

一緒に料理をつくろうとか。

○吉田委員

確かに、高齢者は1人、あるいはお2人様になって、料理をつくるのは大変なんです。料理には根気が要るといえるか、面倒くさくなると、その辺のお惣菜を買ってきて、健康によくない食事になったりする人も結構いるので、学校の給食みたいに高齢者給食みたいなものがあるといいなと実は思っていて。学校の給食の時間にどこかの1部屋に高齢者がいたら、イメージ的にはどうですか？嫌？

○参加者

いや。全然。

○吉田委員

そういうところだと割合交流できるかなと思ったり。昼食食べるのは大変で抜いてしまう

人もいる。そうでもない？皆さん学校にお弁当を持っていつている？

○参加者

そうですね。

○吉田委員

それは自分でつくる？

○参加者

親につくっていただいています。

○吉田委員

他に何かアイデアがありませんか、AIと一緒に使ったり高齢者と交流しているチャットとか、そういうのをやっているところはある？あまりない？

○参加者

私はないですね。

○吉田委員

おじいさん・おばあさんに何かおすすめのものとか、思いつくもの。あまり思いつかない？

○参加者

例えば、学校の給食の時間にパソコンとかでリモートでつなぐとかで、お昼、この時間からこの時間にここに入れば、みんなで一緒に食べれますよ、みたいなやつをつくるだけでも、ご飯、じゃあ、食べようという気になるように。

○吉田委員

確かにね。孤食じゃなくなるものね。つながっていれば。そういうのがあるといいかもしれないですよ。グッドアイデアだね。

あとは、今までの4つのテーマ関係なく、残り5分なので、何か言っておきたいことはありますか。

○参加者

子育てのところで、これはうちの親から参加する前に話をされたんですけど、親が桜野のほうで講師として働いている。朝にご飯を食べてこないというか、ジュース1本で済まして学校に来る小さい子が多いという話があって、ご飯を食べないとイライラしちゃうというか、それで悪循環になって授業があまり進まないとか、そういうのがあるというのを聞いたので、朝、あそべえとかの時間に、お菓子1個でも、ジュース1本でも、何か渡し

てあげるというか。

○吉田委員

それは朝の話？

○参加者

朝の話です。

○吉田委員

あそべえって朝もやっているの？

○参加者

やっています。

○伊藤委員

早朝の学校で。

○参加者

それで何か出してあげるのもいいのかなというのがあります。

○吉田委員

そこは学校支援ということなのかな。

○参加者

そうですね。ごめんなさい。

○吉田委員

いいんです。大切なことなので。みんな朝ご飯を食べて行きます？食べてるのね。ぎりぎりに起きる感じでもないのね。あと、何かほかにありますか？

○参加者

あと、子育てのほうで、あまりお金がないというか、お金の余裕がない世帯のために、子育てを諦めちゃうとか、そういうのを阻止するためには、先輩というか、ほかの子育てしてきた人が使ってきた、まだ使えるようなグッズというか、子育てのおもちゃとか、使わなくて済んだ紙おむつとか、そういうのを一回とって、子育てに困っている人たちにあげるという仕組みを、もうやっているのかもしれないですけど、つくっていくのがいいのかなと思います。

○吉田委員

リユースみたいな感じだよな。

○参加者

そうです。

○吉田委員

ここでも食器とかいろいろなもののリユースをやってはいるけど、私も持ち込もうと思うけれども、それが意外と、簡単ではない。取りに来て集めてくれるような、ごみ収集みたいな感じで、余っているものを集めてくれるようなシステムがあればいいけれど、持ち込むところも何箇所しかなくて、そこが開いている時間に合わせるのが難しい。リユースがもうちょっと効率よくできる仕組みがあるといいよね。

○参加者

確かにそうですね。

○参加者

子育て中だと、わざわざ別のところにとというのは。

○吉田委員

行けないよね。

○伊藤委員

9月から、common（コモン）というアプリを武蔵野で始めたんですよ。物々交換のコーナーもあるんだけど、まだ投稿はないけど、9月の10日から。まだ5日間。

○参加者

市報で見ました。

○伊藤委員

無料なので、ログインしてみて。吉祥寺の情報もいっぱい出てくる。

○参加者

親が始めようかなと言っていました。

ありがとうございました。

■グループ発表

○吉田委員

では、Dグループの発表をさせていただきます。

吉祥寺の場所では、居場所としてのサードスペースとしては、皆さんプレイスの地下2階がとても過ごしやすいというお話があって、結局、先ほどお話があったように、防音装置のある、かつ、お金のかからない場所をつくってほしいということですね。数百円でも

高校生とか中学生にとっては負担が多いということで、コミセンにもそういう場所がつけられたら、すごく使いやすいのではないかという話でした。

吉祥寺の再開発については、吉祥寺はアウェイ感のないホームタウンというイメージで、落ちついた街並みを維持して、小さいお店もあってということで、ビルが林立するというのではなくて、大都市的ではなく、公園もある落ちついたまちを維持してほしいという話でした。

学校に関しては、クラスの人数は30人ぐらい。大人数でない方が、友情やきずなはつきりやすい、全学年ある程度顔もわかるということもあるということとでした。教室の中のゆとりのあるスペースが欲しいということで、ある方は、仕切りのあるスペースが教室の中にあって、そこで授業に参加できない子たちが、音は聞いていながら、自分が参加したいときだけ仕切りを取り外して教室の授業や給食に参加できるようなシステムを実際に使っているところもあるということで、今後の教室づくりに参考になると思います。

学校の合併については、嫌だという、実際、二中に通っていた人とか、そういう話が起きたときに、受け入れられないという声が多かったそうです。学校のいろいろな背景はあると思いますが、学校の合併ではなく、クラブだけの合併という方法も模索してはどうかという話でした。

子ども世代のことに 대해서는、専用のムーバス、お母さんや子どもが利用できる専用のムーバスのようなものがあつたらいいのかなというお話でした。

高齢者支援に関しては、高齢者の働く場所としては、例えば、運動コーチとか、ストリングスのオーケストラ指導など、スキルを持った人が指導してくれるとか、学校内での見守りなどがあるのではないかというのと、高齢者が孤立しないためには、リモートで学校給食をしているときに高齢者とつながって、高齢者と食事時間を共有することもできるような取り組みもあつてもいいのかなというアイデアをいただきました。

あと、その他のことでご意見がでました。朝登校前あそべえに、朝ご飯を食べないで来てしまう人たちがいるので、空腹では教室で授業に集中できないということもありうるので、あそべえで朝ご飯の提供があつたらいいのにとか、子育て支援のところで、リユースをもっと簡単にできるようなシステムができたらいいんじゃないかという意見もいろいろいただきました。

ありがとうございました。